

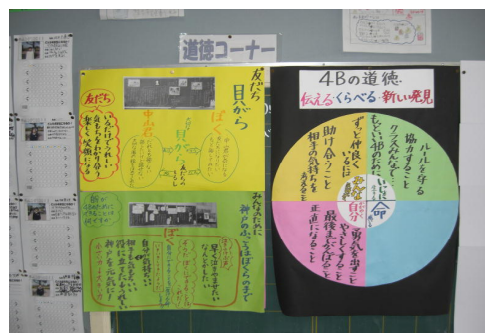
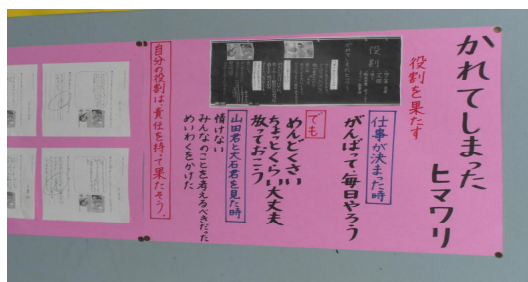
学びづくり部会の取り組み

1.「道徳の時間」の指導の研究

①道徳コーナー

道徳コーナーは各学級の取組として定着した。

昨年度に引き続き、「資料名」「価値」は必ず記入する という以外は、各学級で独自のものが工夫できていた。道徳の学習をふり返ったり、友達の見解を意識したりしながら、読み返す児童の姿も多く見られるようになってきた。



各学級で工夫して

さらには、道徳資料室前の掲示板に校内の道徳コーナーを設け、学級に掲示している物を年間計画に沿って順番に掲示していった。

しかし、道徳資料室は校内でも頻繁に通る学年が限られており、せっかくの取り組みにもかかわらず、意識が十分に行き届いていなかったという反省は残った。



毎月2学級程度のローテーション

②道徳ファイル

今年度も各自、道徳ファイルを見学がすぐ手にとれる場所で保管し、学習で使用したワークシートや印刷された資料などは、整理して道徳ファイルに綴っていった。

ファイルの中の4枚の扉絵（指導要領の1～4の価値項目にそった物）も定着し、子どもたちが道徳ファイルに学習したプリントを綴じる際に、どの価値項目の学習だったかと考えられる力を大切にしてきた。

また道徳で学習した資料やワークシートに限らず、特別活動や行事のふり返りや感想作文なども、自分の判断で4項目への所属を決め、綴じていった。そうすることで、学校生活のどんな事からも道徳的価値を見出し、意識して生活できる児童をめざしてきた。



各教室の棚に保管